

# 大路農泊推進情報

令和4年8月22日

第44号

一般社団法人みつおおじ

## 【間伐ツアーのイベント会場をみつおおじで提供しました！】

8月6日(土)と7日(日)に中山の富永さんの上の家で「きらめ樹ツアーin丹波」と銘打って、NPO法人MAKE HAPPY様が20年以上前に一度間伐をした山をさらに元気にするために間伐作業をされました。参加人数は43名で驚いたのは女性と子供さんが多かったことです。みつおおじとしてはイベント会場(宿泊場所)を提供しただけですが、全国から多くの方が参加され、元気な森づくりのための間伐の大切さを学ばれていました。



初日の18:00からはBBQ。  
みなさんお互いにお知り合いだと思っていたら実は今日初めて会った方も多かったようです。  
このツアーとBBQで知り合えたみたいです。



またBBQが本格的(BBQのインストラクター)で驚きました。

そして、それぞれいろいろな話を交わし繋がりが出来たみたいです。その後、夜の間伐(?)として夜遅くまで話(お酒)が弾んだようでした。



7日(日)9:00からは山に入り間伐作業(皮を剥ぎ2年後に伐採製材)。昼食後、木工ワークショップをされた後、15:00からは2日間の感想会。

参加者全員から感想発表を聞くと、「ほんとに参加してよかった!」と感激されて次も来たいと言われていました。やはり自然(特に森)と人との繋がりが人生で得るところが大きいとの感想でした。



## 【大路の野菜を三尾荘で販売する直売所を始めます！】



以前から「大路の野菜を大路で買う所を作ってほしい!」とのご要望がありました。(特に若いお母さん方から)

今回大路地区で野菜を生産されている方々からの協力を得て、大路で直売することにしました。まず、試しに始めてみようという事で下記の要領でやってみます。(チラシ回覧あり)



野菜品目、値段は当日のお楽しみでお越してください。

・日時: 9月17日(土)

- ・時間: 午前9時30分~12時頃まで (9:30ぐらいに来られたらいいと思います)
- ・場所: 三尾荘玄関付近 (買い物袋をご持参ください)

売切れ次第終了とします。

盛況なら今後も引き続き開催します。ぜひ地元の大路野菜をお買い求めください。

開催連絡は前日16日の夕方に防災無線を利用させていただきお知らせします。

裏面へ

まさゆき かよこ  
**木村雅之さん、薫世子さん**  
(栢野)  
**ヴェルとポポ(ポメラニアン)**

大路には多くの方が移住して生活されています。お互いに知り合いになり、心安くお付き合いしながら、共に大路の良さを共有して暮らしていきたいと思います。順不同でご紹介しています。

今回は、「セカンドハウス」のすすめです。(^^♪  
尼崎から週末栢野に滞在する木村さんご夫婦の2拠点居住の暮らしぶりをうかがいました。

田舎暮らしを楽しみたいと家を探し始め、土地勘のある丹波地域でと、青垣や丹波篠山市も候補にあがったそうですが、栢野のこちらの家に決められたそうです。

自動車関連のお仕事をされていた雅之さんは、とても穏やかで、子育て時代は子供たちと少年野球を楽しまれたのだそうです。

竹田川の草刈りが朝からある時は、しっかり前日入りして活躍、日役も既に慣れたご様子。薫世子さんは、そんな旦那さんの姿に「これまでと違った頼もしい一面を見つけました。」と嬉しそうに話してくれました。日役に出たり、集落のかたのお名前を覚えたり、そっとフォローしてくれる。DIYを工夫して家庭菜園や庭先を充実させるのも雅之さんの活躍。



▲夏野菜が職場の友達に大好評

家屋の一部屋を漆喰塗りにしてみたり、洗面のリフォームにもチャレンジしてみたり。週末には、ご夫婦でDIYショップをめぐり試行錯誤をされている様子がとても楽しそう！お二人の信頼感が伝わってきます。仲良くバランス良く前に進んでいる姿がすてきです。

玄関先と東側に広がる家庭菜園では、夏野菜が元気に育っています。薫世子さんの希望は、「畑が家から地つづきで、摘みとった新鮮な野菜を食卓にすぐ運べる家庭菜園」のある暮らし。その夢も叶ったのです。

お二人の満足度はとても高い様子で、自慢ポイントは、★竹田川のほたるがほんとに綺麗。★なんと言っても星空が美しい。★自分たちで作った野菜を食べて暮らせる幸せ。★未来の孫にぜひこの自然体験を。★職場の家族が子供連れて遊びに来て大喜び。★家庭菜園は失敗しても楽しい。などなど。

また、2拠点居住を始められてから約2年、栢野の移住者交流会にも参加されています。ご近所づき合いでは、苗の余りをもらったり、作付けの指導をもらったり、玄関先に竹の子を置いていってくれたり、松の木の剪定をもらったり…と、あったかい日常に包まれている様子。

さらに、薫世子さんは、看護師やケアマネ、介護予防など福祉の仕事の経験があり、現在も尼崎で地域向けのセミナーや講師といった活動をされています。そのノウハウも是非大路で活かしたらという思いを持たれています。例えば、●家庭菜園で育てた野菜を子供食堂へつなぐ。●集落でお弁当を届けたり、往診できる仕組み。●移動手段の無いかた、医療や介護にかかっているかたへのサポート。こんな話題についても語り合い、時間があっという間に過ぎてしまいました。

続きは、8月27日移住者交流会でよろしくお願ひします。



▲ポメラニアンヴェルとポポと



▲雅之さんのDIY力が光る畑